

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【公表番号】特表2016-522624(P2016-522624A)
 【公表日】平成28年7月28日 (2016.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報2016-045
 【出願番号】特願2016-512179(P2016-512179)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 21/262 (2011.01)

H 0 4 H 60/72 (2008.01)

H 0 4 N 21/431 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 21/262

H 0 4 H 60/72

H 0 4 N 21/431

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月9日 (2017.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子番組ガイド (E P G) を表示する方法であって、

ハイパーテキストマークアップ言語 5 (H T M L 5) プラットフォームで定義された E P G アプリケーションによって前記 E P G 内での表示のための E P G データウィンドウと、イベントに応答して、E P G データマネージャモジュールによって決定された前記 E P G データウィンドウを決定する工程と、

前記決定された E P G データウィンドウをカバーする概観ファイルと、高レベル E P G データを提供する前記概観ファイルを前記 E P G データマネージャモジュールによって展開し、ネットワークから取得する工程と、

前記展開された概観ファイル内の概観 E P G データから前記 E P G データマネージャモジュールによってスクリプト可能なデータオブジェクトと、H T M L 5 E P G アプリケーションによってレンダリングされる概観 E P G データのフォーマットを提供する前記スクリプト可能なデータオブジェクトを生成する工程と、

前記概観データを有するスクリプト可能なデータオブジェクトを用いて、前記 H T M L 5 E P G アプリケーションによって前記 E P G ガイドをレンダリングする工程と、

前記決定された E P G データウィンドウのためのフル E P G データと、前記概観 E P G データよりもさらなるまたは追加の E P G データを提供するフル E P G データを有する 1 つ以上のデータファイルセグメントを、前記 E P G データマネージャモジュールによって展開し、ネットワークから取得する工程と、

前記 1 つ以上の展開されたデータファイルセグメント内の前記フル E P G データから前記 E P G データマネージャモジュールによって更新済みのスクリプト可能なデータオブジェクトと、前記 H T M L 5 E P G アプリケーションによってレンダリングされる前記フル E P G データのフォーマットを提供する前記更新済みのスクリプト可能なデータオブジェクトを生成する工程と、

前記 E P G データウィンドウ内の前記フル E P G データを有する前記更新済みのスクリ

プト可能なデータオブジェクトを用いて、前記HTML5 EPGアプリケーションによって前記EPGガイドをレンダリングする工程と、を含む方法。

【請求項2】

前記EPGデータウィンドウのためのフルEPGデータが既にキャッシュに格納されているか否かを決定する工程をさらに含み、

前記フルEPGデータが既にキャッシュに格納されている場合には、前記EPGガイドが前記フルEPGデータを用いてレンダリングされる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記HTML5 EPGアプリケーションは、表示装置上のユーザインタフェース内のEPGデータウィンドウ内に定義された番組情報を表示する請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記EPGデータマネージャは、1つ以上のEPGデータファイルから受け取ったEPGデータを前記HTML5 EPGアプリケーションに提供し、

前記EPGデータは、前記EPGデータウィンドウのためのスクリプト可能なデータオブジェクトによって提供され、

前記スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記表示装置上の前記ユーザインタフェース内に前記EPGデータウィンドウをレンダリングするために、前記EPGアプリケーションに提供される請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記EPGデータウィンドウは、前記HTML5 EPGアプリケーションからEPG構成パラメータを受け取る工程によって決定され、

前記構成パラメータは、前記EPGデータから表示される前記EPGデータウィンドウのEPG期間を定義する請求項1～4の何れか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記EPGデータウィンドウは、利用可能なEPGデータのサブセットである請求項1～5の何れか1項に記載の方法。

【請求項7】

前記イベントは、前記EPGデータウィンドウ内に表示されるEPGデータを変更する前記HTML5 EPGアプリケーションによって生成されたナビゲーションイベントを受け取る工程を含み、

前記スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記ナビゲーションイベントに応答して生成される請求項1～6の何れか1項に記載の方法。

【請求項8】

前記イベントは、前記EPGデータの変更に関連付けられるEPGイベントを受け取る工程を含み、その結果、前記EPGデータウィンドウを変更する工程をさらに含み、

前記スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記EPGイベントに応答して生成される請求項1～6の何れか1項に記載の方法。

【請求項9】

前記イベントは、時間の変更に基づいてEPGイベントを決定する工程を含み、その結果、前記EPGデータウィンドウ内に表示される前記EPGデータを変更する工程をさらに含み、

前記スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記時間の変更に応答して生成される請求項1～6の何れか1項に記載の方法。

【請求項10】

各スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記EPGのレンダリングを効率的に更新する際に、前記EPGアプリケーションを補助するステータス情報である「変更なし」、「追加済み」、「更新済み」または「削除済み」を含む請求項1～9の何れか1項に記載の方法。

【請求項11】

各スクリプト可能なデータオブジェクトは、前記スクリプト可能なデータオブジェクトの表示状態を反映する1つ以上のCSSセクタを含み、

前記CSSセクタは、前記スクリプト可能なデータオブジェクトの属性に基づいて計算される請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記概観ファイルは、チャンネル、番組タイトル、ジャンル、レーティング、開始時間または期間のうちの1つ以上を提供する請求項1～11の何れか1項に記載の方法。

【請求項13】

前記1つ以上のデータファイルセグメントは、チャンネル、番組タイトル、ジャンル、レーティング、放送日、制作日、開始時間、期間、内容、俳優およびアイコンのうちの1つ以上を提供する請求項1～12の何れか1項に記載の方法。

【請求項14】

プロセッサによって、表示装置上に表示されたユーザインタフェース内に電子番組ガイド（EPG）を生成するための命令を含む非一時的コンピュータ記憶メモリであって、

前記命令は、請求項1～13の何れか1項に記載の方法を実行するために備えられる非一時的コンピュータ記憶メモリ。

【請求項15】

表示装置に電子番組ガイド（EPG）ユーザインタフェース（UI）を表示するためのシステムであって、

前記システムは、プロセッサに結合されたメモリを備え、前記プロセッサは、請求項1～13の何れか1項に記載の方法を実行するシステム。